

199 わが心 血の海に泳ぐ

1. 朗唱 ソプラノ

わが心 血の海を泳ぐ
血の罪が神の目に膨らみ
大きくなり 良心を痛め
首切人が裁くように
我を追い詰めた 悪しき者よ。
私を貶めた 汝れ アダムの子孫よ、
安らぎを奪い 天への道を閉ざす
地獄の門よ 痛める心を慰めるものなく
身を隠さねばならない
天使が顔を隠すものから。

2. アリア 朗唱 ソプラノ

沈黙のうめきよ
秘められた嘆きよ、
わが苦悩を伝えて、
わが口は閉ざされているのだから。
また、あふれる涙の泉よ
わたしの確かな証をしておくれ。
わが罪をどんなに悔いているのかを、
わが心は涙の泉
ああ、神、誰が気に入られるや。

3. 朗唱 ソプラノ

だが、神は憐れまれる。
私が灰をかぶり、涙して
心は悔いと悲しみに暮れ、
嘆き叫ぶからです。
神よ罪な私を憐れみたまえ。
神は心開き、
わが心は言う。

4. アリア ソプラノ

深く悔いてうなだれ、
神のみ前にひれ伏す。
私は罪を悔います。
赦してください。私の罪を。
堪えて忍んで赦してください。

5. 朗唱 ソプラノ

この後悔のさなか
慰めの言葉が浮かんだ。

6. コラール ソプラノ

あなたの嘆きの私は
わがすべての罪を投げ
わが身に突き刺さり
脅かす罪を
あなたのみ傷にゆだね
そこに救いを見出さん。

7. 朗唱 ソプラノ

身に傷を受けて
岩穴に伏すように、
そこは憩いの場とならん
信仰の翼にのり
そこに行き喜び歌わん。

8. アリア ソプラノ

いかに嬉しき
わが心を神が受け入れられたので。
悩み苦しきは
神の祝福をもう阻まない。
ながみ苦しきは
神の祝福をもう阻まない。
悩み悲しきは神の祝福を阻まない。

BWV199 わが心 血の海を泳ぐ

1714年8月12日ワイマール版

1723年8月8日 ライプツィヒ三位一体11主日礼拝

歌詞 G.C. レームス

使用コラール 「われいずこに逃れるべきや」 (J. ヘルマン 1630、3節)

ソプラノカンタータ

当日の福音書にある取税人の祈り「神よ、罪びとなるわれを憐れみたまえ」から作られ、前半は罪の意識なさいなまされる人間の開墾、後半はキリストの十字架の傷に救いの慰めを見出した喜びを語る。バッハは合唱を欠き、全曲ソプラノだけが歌う限られた編成であるが、学窓の変化や、楽器の用法によって多彩な効果を達成している。(カンタータ CD全集西原稔)